



フードバレーとちかち

# 帯広市の人口対策

## 「人口ビジョン」と「総合戦略」

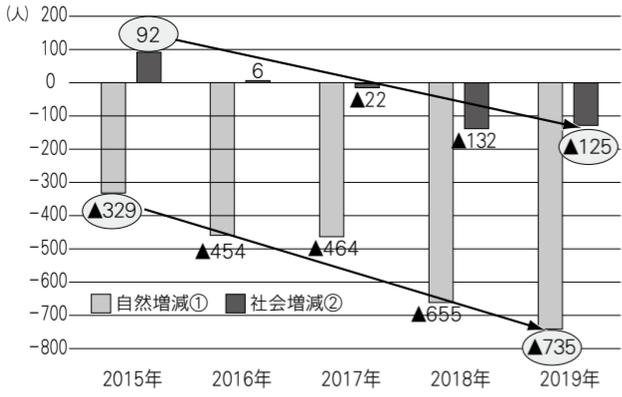
人口の現状分析やこれまでの取り組みを踏まえ、今年2月に「帯広市人口ビジョン」を改定するとともに、「第2期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

問い合わせ 企画課（市庁舎5階、☎65・4105）

### 帯広市における人口の動き

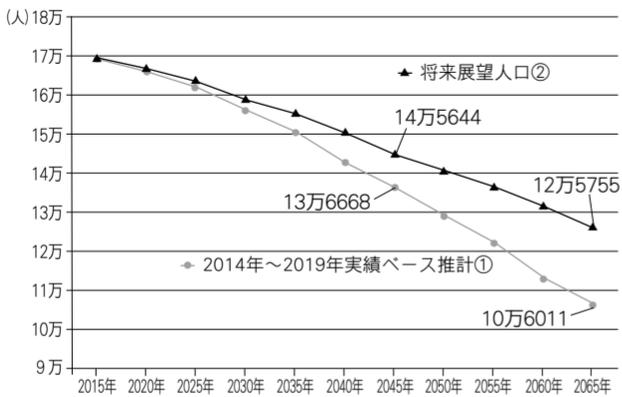
国勢調査によると、帯広市の人口は、2000年の17万3030人をピークに減少に転じました。また、近年では、2015年から4年間で2496人、約1・5パーセント減少しており、令和元年12月末現在で16万6043人となっています。

図1 自然動態・社会動態の推移 (出典：住民基本台帳)



出生数から死亡数を差し引いた自然増減を見ると(図1①)、2015年のマイナス329人から2019年のマイナス735人へ、減少幅が拡大しています。結婚に

図2 将来展望人口 (出典：帯広市人口ビジョン)



今後、人口が現状のまま推移すると、2045年には13万6666人の就労環境の違いなどを背景に、札幌市や東京圏への人口流出が拡大していることが影響しています。

◆とちかち・イノベーション・プログラム  
十勝の事業者と、域外の起業家との交流を通し、新しい仕事づくりに向けたアイデアを生み出す取り組みです。5年間で44件の構想が生まれ、15件の法人設立・事業化につながりました。

◆第1期総合戦略の取り組み(2015年度～2019年度)  
第1期総合戦略では、魅力ある仕事づくりのほか、十勝・帯広への人の流れの拡大、子どもや子育て世代、高齢者まで誰もが安心して暮らし続けられる生活環境づくりを進めました。ここでは事例を紹介します。

◆子育て世代包括支援センターの取り組み  
安心して子どもを産み育てられる環境づくりをめざし、妊娠・出産・子育てを切れ目なくサポートできるように、子育てに関する相談対応をはじめ、妊娠中から参加できる「ママと赤ちゃんの相談会」での講座や交流、産後の心身の回復をサポートする産後ケア事業、不妊治療に対する費用の一部助成などに取り組んでいます。



人口ビジョンと総合戦略は市ホームページに掲載しています

◆第2期総合戦略(2020年度～2024年度)  
第2期総合戦略では、これまでの取り組みをステップに、誰もが住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりをめざし、十勝・帯広



ママと赤ちゃんの相談会

◆子育て世代包括支援センターの取り組み  
安心して子どもを産み育てられる環境づくりをめざし、妊娠・出産・子育てを切れ目なくサポートできるように、子育てに関する相談対応をはじめ、妊娠中から参加できる「ママと赤ちゃんの相談会」での講座や交流、産後の心身の回復をサポートする産後ケア事業、不妊治療に対する費用の一部助成などに取り組んでいます。



冬のアウトドアコンテンツ「犬ぞり体験」(株式会社イノベーション十勝)

ア観光の推進に向け、観光コンテンツの開発などを進めています。このほか、馬車に乗って飲食を楽しむながら中心市街地を周遊する取り組みや、小型航空機を利用者間でシェアするサービスなどが事業化に近づいています。

## 第2期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標と取り組みの方向性(2020年度～2024年度)

### ◆基本目標1 新たな「しごと」を創り出す

ICT(情報通信技術)を活用した農業の推進や海外販路の開拓に向けた支援を進めるほか、創業・起業の総合的な支援や人材の確保、地域産業の担い手の育成などに取り組みます。



#### 取り組み例

地元企業の人材確保に向けた首都圏におけるフェアの開催【U I J ターン促進事業】

### ◆基本目標2 十勝・帯広への「ひと」の流れをつくる

十勝・帯広への愛着・誇りを醸成するふるさと教育や、域外に向けた仕事・暮らしの情報発信により、将来の移住・定住の促進につなげるほか、アウトドア観光の振興やスポーツ大会・合宿の誘致活動などに取り組みます。



#### 取り組み例

自然環境、歴史、伝統、文化、産業、地域住民との関わりを通じた、小・中学校における体系的なふるさと教育【おびひろ市民学】

### ◆基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

結婚・出産を支える環境づくりに向け、働き方改革を推進するほか、子育て支援や教育環境の充実を図るため、ファミリーサポートセンター事業やコミュニティ・スクールの導入推進などに取り組みます。



#### 取り組み例

働き方改革の推進に向けた啓発活動【男女共同参画講座】

### ◆基本目標4 安全安心でいきいきと暮らせるまちをつくる

人のつながりを通して、高齢者や障害者、外国人の生活支援に取り組むほか、公共交通の確保や中心市街地の施設・整備支援、学生・高齢者をはじめ多様な主体のまちづくり活動への参画や活躍促進などに取り組みます。



#### 取り組み例

帯広畜産大学との共同による、学生の自主的なまちづくり活動への支援(養蜂を通じた地域活性化の取り組みなど)【学生と地域がつながるまちづくり支援事業】

の魅力に共感する人々が訪れ、集まり、共鳴する「人材の交流拠点・挑戦の興隆拠点」をめざす姿として定めました。今後、四つの基本目標のもと、人口減少の抑制、人口減少社会への適応のほか、高齢者や外国人の活躍を促進するなど人口構成の変化を課題解決へと結び付けていくことで、地域の持続的な発展につなげていきます。